



## 東 北 方 面

### 内海橋架替工事

#### 明年度から着手か

宮城縣石の巻東西内海橋の架替へ問題に  
ついては、石の巻町と縣當局との間に於て  
大體の了解が成つて居り、本年度中に東内  
海橋の方は鐵筋コンクリートに架替を見る  
だらうとのことであるが、右は這般縣田中  
技師等の實地視察の結果兩橋共に危険状態

に在ることを認め、早急に架換することに  
なつたもので、縣に於て約二十萬圓の豫算  
を以て設計を樹てることになつてゐるから  
根本的解決を見るのも、遠き將來ではある  
まい。

架換の經費は縣直費として北上川の埋立  
て工事を完成し、約壹萬七千坪の埋立地を  
石の巻町で處分すれば、この賣上金は少く  
とも六七十萬圓には上り、實費額約十五萬  
圓として五十萬圓乃至六十萬圓の利益を得  
ることとなるから、此の中石の巻町から貳  
拾萬圓位は寄附することになるであらう。

何れにしても未だ縣と町當局との間に決定  
的交渉は纏まつてゐない様であるが、大體  
に於て右の様に埋立地の賣却金の利得によ  
つて經費の大半を石の巻町で負擔するのは  
豫定の事實らしい、而して西内海橋の方は  
將來大石の巻町建設の道程として三四年後  
北上川改修工事の完成の結果によつて埋立  
される豫定であるから、先づ差當つて東内  
海橋の方を鐵筋コンクリートに架替するも  
のであると傳へられてゐるが、何せ縣道筋  
であるから縣に於て相當頭を悩ましてゐる  
模様で、全縣下に於ける橋梁中でも交通最  
も繁劇であり、同時に橋下の船舶航行等も  
頻繁であるだけ屢々損壞されることがあつ  
て、毎年多少づゝの修繕費を支出すること  
は却て所謂安物買ひの何とやらで毎年支出  
するが如き不經濟であるとの見地から今日  
の計畫を見るに至つたものである。

### 留 場 橋 の 修 繕

宮城縣栗原郡宮野村にある築館町から僅かに三丁の國道筋及び一迫川に架設してある留場橋は大正十年十二月中總架替へをしたものであるが、最早甲板は所々腐朽して聊か危険を感ずる様になつたので築館縣工區では過般來からこれが修理に着手して居つたが漸く八月九日竣成した。

この橋は延長三十間、四方の風光も捨て難く夏の夕は納涼に適し、四時白雪皚々たる栗駒山を北方に展望し得る地方稀に見る名橋である。

## 京濱方面

### 神奈川縣震災復舊土木事業

總工費二千餘萬圓の巨費と五ヶ年の長日月を要した、神奈川縣震災復舊土木事業は豫期以上の好成績で進歩し、愈々本年中に完成する筈なので近く内務省から中間検査の

地方通信

ため技術官が來縣する筈であるが、縣當局は事業の執行に際し出來得る限り工夫を凝らし濫費を防ぎ事業費の輕減を計つた爲め約二十萬圓以上の剩餘費を生ずる見込である、縣當局に於ては之を復舊計畫洩れの國道並に府縣道の改修事業費に充當し本年度乃至來年度から實施する意向を有し目下考究中である。尤も工事費の流用に付ては内務省の了解を得られるか甚だ疑問であるが震災前より關係ある道路改修に振向けたらば或は了解を得られるであらうかと期待されてゐる。

### 京濱間の新交通機關

#### 特急自動車の内認可

かつて京濱十四哩間に専用道路を新設し特急自動車運轉の計劃を樹て鐵道省に特許申請中であつたが最近整備通知を受けたのでいよいよ株式組織の「京濱專路特急自動車會社」設立に着手することになつて、七

日十六日午後五時から丸の内工業クラブに發起人會を開いたが、計畫の概要は市外五反田を起點として省線、京濱電鐵の中間に馬込、中丸、平馬の渡、大曾根を經由、新橫濱驛に至る約十四哩の間に四間幅の自動車専用道路を敷設し、毎二分に直通車を發車して京濱間を交通すると共に途中に約二十ヶ所の停留場を設けて普通車をもまた二分毎に發車させ、なほ社外自動車をも有料を以て専用道路を利用せしめる仕組である元來この計畫は大正十二年の震災前から企てられ、東京府廳に特許を申請したものであるが、これを處理する法規がないため殆んど打消の姿となつてゐたのを、今岡明治四年大政官布告六四八號に依つて整備通知即ち内認可の通知に接したので、會社組織實現まで運んだ次第である。會社の資本金は一千五百萬圓で最初の四分の一の三百七十五萬圓を拂込んで事業に着手する方針である、なほ京濱間直通貨銀は五拾錢で

あると。

## 北越方面

### 北荷項長岡線

#### 府縣道の改良

新潟縣農事試驗場に於ては、原種圃視察者の不便を感ずること痛切なるもの有り、栖吉村に於ても亦名湯成願寺温泉の發展を期し相共に昨年來府縣道北荷項長岡線の改修を縣當局に迫つて居たが、經費多端の折柄容易に改修に至らないので地元成願寺、西片貝、東片貝の青年は先月奉仕的に路面の修理パラス撤きをなし應急的の修理をなしたが、縣でも其の必要を認め取敢ず土木技手を派遣して測量せしむる事となつたが、右は根本的改修ではなくして局部改良であり、十數ヶ所に九尺三間位の待避所を設けカーブを緩くする等主として自動車の通行を便ならし

むる目的であつて、悠久山裏手から温泉に至る延長約一里工事費よりも潰地の買収等に案外經費が嵩む模様であるが改良を熱望する地元からは既に土地の買収を了せずとも起工には異議を申立てないといふ承諾書を入れてあるから測量終了次第工事に着手する意向である。

#### 藏王町地先に

#### 架橋の運動起る

新潟縣長岡市藏王町地先梅田堤防は曩に府縣道として認定されたので、これを機會に多年希望して居る上横下までの架橋計劃を是非とも實現させたいといふので、これ等關係地方民の間に再び猛烈なる運動が開始されて居る、殊に今度の運動は梅田堤防が府縣道として認定された後のことであり、理由が從來のそれより一層有力なるものがあるから、それだけ力強いと見られてゐる、併し目的の貫徹を期するにはさし當つて岩田市

長を動かすことが必要であると云ふので、方者數名は八月九日市役所を訪問過去に於ける關係を知らぬ岩田市長に對し、委曲を盡して協力を請ひ大いに縣當局に對して運動せられたいと陳情し、又架橋促成同盟會を組織し政治的色彩からはなれ全市の輿論を背景に過日發會式を挙げたが、幸ひ縣當局の了解を得ることが出来、且架橋の希望をして實現し得ることが出来るならば、前例に依る地元負擔の如きは少しも辭するところでない、と各關係者は大に意氣込んでゐる。

#### 新津停車場通り面目一新

新潟縣新津町停車場通り道路擴張工事竣工式は八月八日午前十一時から新津驛前廣場に於て舉行された、藤沼知事を初め百餘名の來賓あり、型の如く式は始まり鈴木町長の式辭に次いで、知事の告辭其の他多數有志の祝辭あり、最後に功勞者本田泰平氏に沿道部落から記念品を添へ感謝狀を贈り、正午盛

會裡に式を終へた。

當日沿道停車場通りは兩端共アーチを建て夜間は特に百燭光の電燈を點し兩側には電氣その他いろいろな裝飾を施して竣成を祝した、道路は中央三十四尺の車道兩側各十一尺のコンクリート歩道に街路樹を植え災後復興の建築物の偉觀と共に眞に面目を一新するに至つた。尙工事は昨年十一月十七日着手し十二月十日から四月二十五日まで間は雪のため中止し今回漸く竣成したのであつてこの工費は壹萬參千餘圓である

## 東 海 方 面

### 道路共進會で

#### 愛護觀念涵養

愛知縣道路愛護共進會は本年六月一日から開始され十二月三十一日をもつて終了することになつてゐる豊橋土木工區事務所管

内に於ける共進會參加團體は左の通りであつて同事務所では最近ポスターを各所に掲示して大に宣傳に努め優秀なる成果を得るやうにと準備おさ／＼怠りがない。

豊橋市參加團體十八、加入道路種類延長國府縣道市町村道三百三十三間五尺、寶飯郡參加團體二十七人員二千七百六人道路種類延長國府縣道九百二十五間、市町村道四千三百八十四間、計一萬一千三百九間渥美郡參加團體四十八、人員一千九百四十九人國府縣道一萬七千五百五十八間、市町村道七千四百六十五間、計二萬四千六百二十三間八名郡參加團體二、人員百十四人、國府縣道三千百四十間市町村道二千八百八十間、計六千二十間

#### 岡崎驛前縣道の鋪裝

東海道線岡崎驛前から岡崎市内殿橋に至る間の府縣道鋪裝工事問題に關し小瀧岡崎市助役は市會議長、參事會員並に縣土木課

員等と去る七月二十九日三河鐵道株式會社を訪れ縣市に於て明年度市の部分だけ鋪裝するから會社も軌道内の鋪裝工事に着手された旨を交渉したが、其の後右交渉の經過を聞くに會社側では棍尾支配人の獨斷では取計ひ兼ねるから連結重役會議を開いて協議の上何分の回答を爲す旨答へたとの事である。元々會社が府縣道へ軌道を敷設する際縣が鋪裝工事を施行する時は會社でも共に軌道部を鋪裝することゝ約してゐるのであるから縣が鋪裝する以上會社も當然之に反對する事は出来ない譯だが併し一應會社の内容をも考慮して遣らねばならぬから直に着手するやうな事もあるまいと觀られる。

#### 道路改修補助申請

岐阜縣山縣郡北山村は山間僻地の地で廣袤東西五里、南北三里に亘つて居り、その間に戸數五百戸、人口三千餘人を包容し耕

地は比較的少ないが、山林三千餘町歩、金山豊富なる森林を有する外、炭、薪、蒭、蕪、芋及蠶糸などを産出し、之が輸出額相當多額に上り他面、米、麥其の他の日用品の需要も亦夥しく、之等物資の輸出入にはたゞ一條の岐阜北山線があるばかりで甚だ不便を感じつゝある上に、間門瀬見橋附近その他所々に缺潰し易い場所があつて萬一の場合には北山村への通行全く杜絶し、三千にあまる村民は到底飢餓を免れぬ状態にあるので七月二十六日北山村長、北武藝村長は有力者と共に北山村民の物質供給及生産物移出のため府縣道關根尾線の北武藝村地内水棚から分岐北武藝村道田栗を経て谷合村地内を通過して、谷合村瀬見橋右岸で岐阜橋北山線と接続する延長八十間幅二間の道路改修に關する陳情書を内務部長に提出した

いよく提出された

### 大垣市の道路網

岐阜縣大垣市の都市計劃道路網はこのほど調査終了して内申書を縣に提出した、これによると大垣驛から南へ南寺内に出て右折し久瀬川へ達するものを幹線とし、現市内は格子形に郊外は放射線を應用したもので、道路の幅員は十間五分、八間、六間、四間の四種に分ち電車道も設計されてある路線の延長は路幅十間五分のもの七千七百四十五間、八間のもの六千七百二十間、六間のもの一萬八百四十五間、四間のもの二千四百六十間、計二萬七千七百七十間でこの工事費總額は八百萬圓の豫定である。

### 近畿方面

#### 改修を急ぐ神明國道

兵庫縣の起業に係る神明國道改修工事は

當初大正十一年度から昭和二年度までの繼續事業とし總工費六百五十七萬圓の豫定で

着手したのであるが憲政會内閣の緊縮方針に災されて大正十四年度に於て三年間の繰延べを行つた爲現在では昭和五年度の完了となつてゐるが、繰延べ當時他の繼續事業をも同様繰延べを行つたので昭和元年度の土木費だけでも七百萬圓の自然膨脹を來したが一旦繰延べた阪神國道改修工事は年度の追加豫算で、事業完成年度繰上げを斷行して現に今春竣功を告げたが、神明國道に關しては事業年度繰延べのまゝ今日に及んだ併し事業の性質、即ち道路の利用價值からいつても又縣の負擔からいつても成るべく早く之を完成した方が得策だとの議が最近起つてゐる、其れは完了年度の支出額百十四萬圓の中七八十萬圓を本年度内に追加支出し殘額は三、四兩年度に割當てゝ一年の繰上げを行はんとするもので必ずしも遂行困難ではなさそうである。

なほ工事了りまでの工費支出年度割は昭和二年度六十萬圓、同三年度百七十萬圓、

同四年度百七十萬圓、同五年度百十四萬圓であつて本年度が比較的小額であるから完了年度分の大部分を本年度に移さうといふのである。

### 全縣下に亘る大道路網計劃

兵庫縣土木部では縣下全體に亘る大道路網を決定する爲目下調査研究中であるが、仄聞する處に依れば縣下には神明、阪神の兩國道はあつても他の一般府縣道が現在の狀態では其の利用範圍は極めて狭少であるから縣下全體に亘り交通上基本的道路網を確定し之に連絡せしむる必要があるといふのであつて先づ先般の交通調査の結果に基いて計劃を立て例へば神明國道を岡山縣界まで延長し加古川三木間明石北條間といふ風に大幹線を結びつけ少くとも縣下全體に亘つて自動車交通に適するやうにしたいとの意向である併し縣の財政上かゝる大計劃を早急に實現する、とは困難であり縣に

於ては先づ道路網の根本方針を確立して置いて財政其他適當の時期に實行しようといふ説もあつて明年度豫算には或は調査費を計上するに止まるかも知れないが知事も政府の積極政策に倣つて村町發展のためには町村債を起してもよいとの肚であるから或は五六年の繼續事業として來年度豫算に相當の經費を計上するかも知れぬとの噂がある。

### 自動車の激増

#### 交通の新取締

大阪市都市計劃事業の進捗に伴つて御堂筋の一部、阪神國道の大部分は既に緩行車道、疾行車道、歩道等の區別が明かに設けられ其他の道路に於ても漸次工事が進められて居るから近く斯うした道路の實現を見ることであらう、特に最近自動車、自動自轉車、自轉車等が急激に増加し自轉車の如きに至つては實に二十七萬臺を算するに至

つた爲め從來の様に自轉車、人力車、馬車等が自動車、自動自轉車等の疾行車と共に混行することは障害が多いので大阪府では今回自轉車、荷馬車、人力車等は緩行車の部類に加へる事として左の如く取締規則を改正した。

#### 歩道車道の區別ある道路

牛、馬、足踏自轉車、人力車、荷車、牛馬車等の緩行車馬竝に行列は「車道の左端部」を通行する事

自動車、自動自轉車等の疾行車は車道中央部左側を疾行する事

#### 歩車道の區別なき道路

緩行車馬竝に歩行者行列等は道路の左端部を通行する事

疾行車は道路中央部の左側を疾走する事  
これが爲今後道路中央部の左側を通るものは自動車自轉車だけである、但し例外として北濱二丁目惠美須町間は、大正十二年二月以來午前七時から午後八時までには緩行車

馬の通行を禁じられて居た爲め今回の改正規則によると自轉車人力車も同時間内は通行出来ぬ事となる譯であるが目抜き道の該道路を通行出来ぬ様では餘りに不便が多いため特に例外として標筋の通行を許す事となつた。

### 街路の修繕を急速に施行せよ

#### と商業會議所から府へ建議

大阪商業會議所では曩に大阪府に對して街路交通整理に關し建議したが、大阪の殺人道路は依然として交通整理が完全に行はれず平均一日十一件の交通事故を惹き起してゐる爲め、同會議所では更に八月五日附で市街電車の混雑、街路の擴張並に修繕工事の遅延、夜間に於ける工事區域の表示燈の完備、歩道車道馬道の區別を嚴守すること、等に就いて建議して來た、これに對して縣保安課長は「商業會議所からは昨年交通整理に關す

る建議があつたが未だにこれが實行されな  
いといふので更に建議して來た譯である、  
勿論當局としては全力を擧げて交通整理に  
當つてゐるが、何分交通巡查の訓練も足り  
ない上に一般民衆の訓練も徹底して居ない  
ので自然十分な結果を擧げ得ない、今後は  
交通巡查を増し交通巡查の講習會を開いて  
これ等建議の意に添ふ様努力したい」と語  
つてゐた。

## 中國方面

### 大門から大竹迄の

#### 國道の大改修

廣島縣土木課では岡山縣大門から佐伯郡大竹町に至る東西貫通二號國道三十八里二十五町の大改修を行ふ計畫をたて、明年度から三十ヶ年繼續事業としてこれを完成さすことにしてゐるが、總經費二千六百萬圓

の年度割は内務省の補助年割額の確定をまつて決定される筈である、改修は現在の二間幅内外の道路を大體四間幅に擴張、各所に横はつてゐる急勾配を切り下げ特に福山尾道兩市の市内區域内は八間幅に廣島市は十三間幅に擴張の計畫であるからこれに要する經費が特に巨額に上るようである。

#### 廣島の新偉觀京橋の開通式

水の都廣島に新に偉觀を添へた架換新裝の京橋開通式は八月三日午前十時から石井鶴羽根神社々掌を齋主とし末松知事、川淵市長以下數十名の來賓參列の上盛大に舉行された。

同橋は昨年七月二十六日起工し總工費約七萬圓を要したもので猿猴橋に次いでの名橋である、式は型の如く修祓式後知事、市長の祝辭、來賓、祭員の玉串奉奠に次いで廣島縣土木課長工事報告をなし吉例の渡初めは關係兩町の高齡者も夫婦が光榮を荷ひ

午前十一時諸行事は滞りなく終了、一般の通行を許したが、この日盛儀見物の人数數千名は橋の袂から兩河岸に混雑を極め餘興の手踊りその他に終日賑ふた。

### 熊野川溪谷に沿ふ

#### 南北朝道路の開通式

廣島縣比婆郡美古登村大字熊野は熊野川の溪谷に沿つて、南北殆んど三里に垂んとする細長い部落であつて、この部落には從來改修道路なく、僅かに舊里道によつて人馬の交通を爲し得るに過ぎなかつた爲、熊野川の水源を爲す深山幽谷豊富なる物資も搬出の道なく徒らに腐朽に任せられてゐたが大正十二年七月の大洪水に際して杖とも柱とも頼む唯一の舊里道が大破壊してしまつたので、部落民はもとより村民の奮起する處となつて幾多の難關を打ち破り、村長渡邊清九郎氏其の他有志の苦心努力に依つて縣費補助金五千四百五十一圓を得て、總

工事費二萬五千五百四十五圓を投じ、同村字別所の府縣道から分岐して伊邪奈美命を奉祀する比婆山麓の熊野神社鳥居前に至る

延長二里五町四間餘、幅員九尺の改修を計畫し、それ／＼手續を了して大正十四年十二月一日起工した。同部落の有力家であつた元村長渡邊英登氏の犠牲的工事請負に依つて着々工を進め、縣土木課、庄原土木出張所等の指導監督及同村土木主任であつた當時の助役石井祐七氏の熱誠なる努力に依つて、遂に本年七月二十九日愈竣成を告げ

三十日午後三時から終點附近の熊野神社拜殿前廣場に於て盛大な開通式が舉行された。式後祝賀の盛宴を張り、互に地方の前途を祝福して觀を盡し美古村の萬歳を三唱して散會した完成後の道路は最急勾配十五分の一熊野川に沿ひ概して平垣の處多く馬車自動車の交通にも適し林産物の搬出は非常に便利となつた、途中魚切橋は橋上から魚切瀧の景勝を眺められ、巨幹の老杉天を摩

する熊野神社參拜、靈蹟比婆山登山等も至極便利となつた。

#### 愛する土の爲め

#### 汗と力の奉仕

去る七月二十九日午前六時からの出來事である。煮りつけるやうな烈日の下に汗と愛と努力の奉仕團が海の宇品に涙ぐましい程の活動が續けられた、この奉仕團は曩に離散した宇品新開の小作人たちによつて組織されてゐる新鳥會の會員二百五十餘名の自發的奉仕で、過ぐる年から鋤起し今日までに培ひ來つた宇品新開の豊饒の地に對しての親しみも亦格別、曩にこの小作人たちは協議の上離散したとはいへ永い間の土に對する親しみけ之を捨つるに忍びず今後自分たちの手から離れても益々開けゆけよと祈る人情美の發露からの新開發展策の一つとして道路の改修奉仕となつたのである、その改修道路は御幸通りと新に出來た神田



通りにつながる横路六筋と御幸通四丁目から二丁目にある。この横路元幅員九尺を三間半に擴張するため、こゝに勞力奉仕團の尊い汗が一滴土を堅めてゐるのである。

この長き約二町程を全部六筋改修するのであつて三十日迄に仕上げたものは十四、十五丁目の間と十二、十三丁目の間の二筋で、三十一日中に仕上げた道路は八、九丁目の分と十、十一丁目の二筋で都合四筋の幅員三間半、長さ二丁餘の道路改修が出来た筈である。あとも二筋かくして遂に出来上つた、毎日午前六時から午前十一時三十分と午後三時半から午後七時まで鍬を持ち、脊を擔つて老いも若きも男も女もセツセと愛する新開のために懸命の努力を捧げたこの奉仕は此頃涙ぐましい程嬉しいものであつた。

#### 四班に分れ道路の一齊修理

廣島縣安佐郡三入村在郷軍人分會並青年團では道路共進會に参加し成績優良を以て

昨年は一等に入選した賞與金二百圓授與されたが更に本年も之に参加することになり第二回府縣道大修理を行ふこととなり八月七日の日曜日を利用して午前五時三十分から熊谷分會長並五反田駐在巡查總指揮の下に四班に分れ夫々班長の指導に依り各班員受持區域の雑草除去作業を行ひ、同十一時終了し引續いて小学校に集合し同村軍人分會並青年團員主催の模擬村會の議員投票を行ひ解散した、尙當日各戸に對し道路共進會の參加の成績並希望等の印刷物を配布した。

#### 道路崩壊して交通杜絶

降雨に因る道路の崩壊は頻々として各所を襲ふが復舊工事後幾何もなくして復々崩壊した遺憾な話がある、それは廣島縣佐伯郡四和村から淺原村に通ずる府縣道中四和村所山河面間の高さ二十尺の箇所十間以上

二ヶ所は一昨年の出水に依つて押流されたので直ちに復舊されてあつたが、今年のお水に同一箇所が再び崩壊されてしまつた、これは設計の不備に依るものでなく復舊後日尙淺く地響軟弱に因るものであらうこれが爲車馬の交通は全く杜絶するに至つた。二十尺以上の高所のことゝ復舊工事も容易でなく爲に同地方から廿日市を経て京阪神方面に移出されてゐた木炭類の搬出に妨からぬ支障を來して居るので地方民は一日も早く原形に復するのを希つてゐる、かかる例は必しも珍らしくはないが、それだけに之等復舊工事に付ては特に當局の周密なる注意を促し度いのである。